

一社) 日本心臓病学会 海外留学助成制度

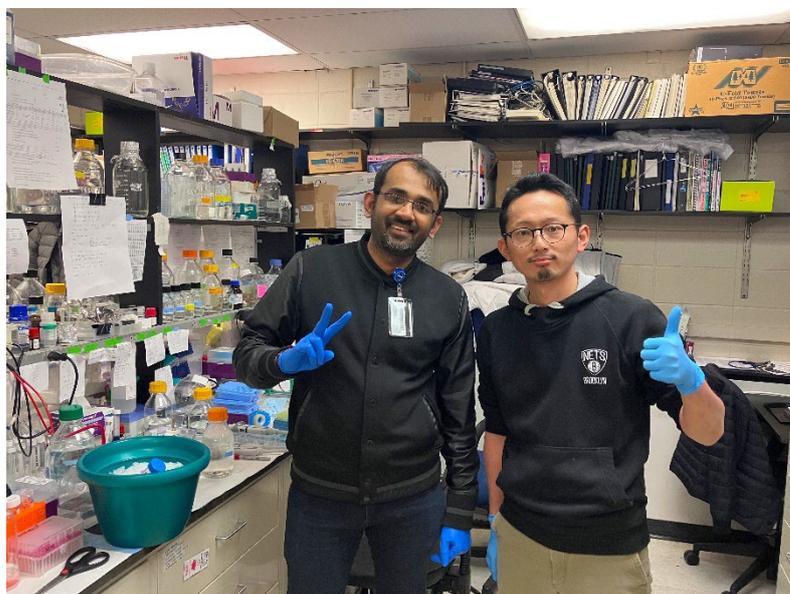
[2021 年度助成] 高山 幸一郎 (国立循環器病研究センター分子生物学部)  
[留学先] Rutgers New Jersey Medical School (米国、ニュージャージー州)  
[留学期間] 2022 年 5 月～2024 年 11 月

留学報告記

高山 幸一郎 (長浜赤十字病院/国立循環器病研究センター)

この度、研究留学を終えて帰国しましたのでご報告させていただきます。私は 2 年半の間、米国東海岸 New Jersey 州にあります Rutgers New Jersey Medical School に留学して参りました。Rutgers 大学は 1766 年創立の歴史ある州立総合大学です。州内にキャンパスが点在していて、私の Lab は州北部の都市 Newark にありました。マンハッタンに近くて便利な立地ですが、治安面では不安のある街でしたので日中は Lab にこもって実験に集中できる恵まれた環境でした。

留学先の Sadoshima Lab は PhD 学生 3 名、ポスドク 6 名、シニア研究員 3 名の比較的大きな Lab で、多数のプロジェクトが並行して進められている大変アクティブな Lab でした。Sadoshima 教授は Department of Cell Biology and Molecular Medicine の Chair も兼務されていて大変忙しいようですが、各メンバーのプロジェクトに熱心にご指導くださり、とても充実した研究者生活を過ごすことができました。私は、渡米前は電気生理学的アプローチによる遺伝性不整脈研究を主なテーマにしていたのですが、留学先では疾患モデルマウスを用いた心不全病態解明に関する細胞生物学研究という新しいテーマに挑戦しました。当初は Lab meeting にも全く付いて行けず大苦戦しましたが、同僚たちが親切にサポートしてくれ、失敗を繰り返しながらも何とか研究を前進させることができました。私のテーマは今も後任の先生が研究を続けてくれていますが、近いうちに興味深い成果をご報告できると思います。



また、私生活では妻と子3人も留学に同行してくれましたので、日本では経験できない刺激的な生活を送ることができました。LabのあるNewarkは日本人には刺激が強すぎる街でしたので、我々家族は州北部のFort Leeという住宅街に居住していました。街にはHudson川を渡ってマンハッタンへアクセスするためのGeorge Washington Bridgeが掛かっていて、マンハッタン通勤者のベッドタウンといった地域でした。子育て世代のファミリーが多く居住し、緑が多くて気持ちの良い街でした。バスで1時間もすればTimes Squareへアクセスできる好立地でしたので有名観光地やスポーツ観戦といったザ・アメリカな週末も満喫しましたが、子供たちの現地校の行事や友人たちと公園でBBQといった何気ない日常が何ものにも代えがたい貴重な経験でした。

多くの諸先輩方が「海外留学は苦労以上の得難い経験があるからぜひ挑戦すべきだ」とおっしゃいますが、まさにその通りで実際に行ってみると実感します。物価が高くて経済的には大変厳しい状況でしたが、一生の財産になったと確信しています。この度は海外留学助成を賜りまして、誠に有難うございました。この場を借りて、心から感謝申し上げます。